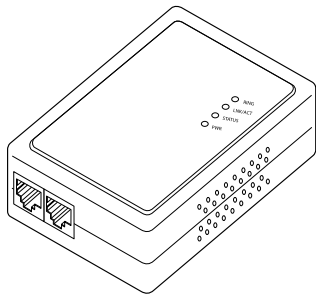


FLiP ATA
取扱説明書 ATA編
Japanese Version 1.0

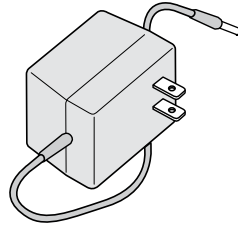
目次

1. FLIPスターターキット内容	5
2. ATA本体 仕様	5
3. ATA本体 接続方法	6
4. 付録1	9
5. 付録2	14

1. FLIPスターキット内容



ATA(アナログ・ телефон・ アダプター) 本体



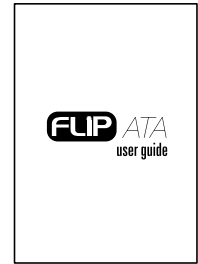
電源コード (AC/DCアダプター)



電話線

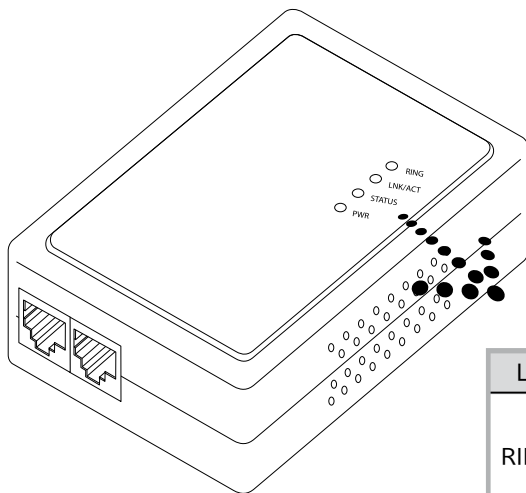


LANケーブル

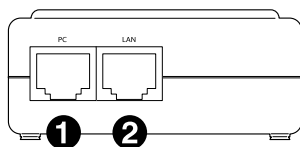


取扱説明書

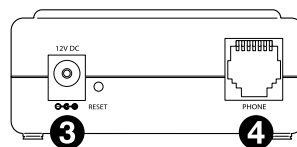
2. ATA本体 仕様



LEDランプ	機能
RING	消灯: 使用可能
	点灯: 使用中
	点滅: 呼出中
LNK/ACT	消灯: 毎秒10MBの速度で接続
	点灯: 毎秒100MBの速度で接続
STATUS	ATAが作動している間、点滅します。
PWR	AC/DCアダプターの電源 (オン/オフ)



- ① PC: PC 接続用ポート
- ② LAN: モデムまたはルーター接続用ポート



- ③ 12V DC: 電源コード接続用ポート
- ④ Phone: 電話機接続用ポート

3. ATA本体 接続方法

ATA本体の接続はインターネット接続用に設置された他機器およびプロバイダー情報(PPPoE接続)が登録された場所により異なります。

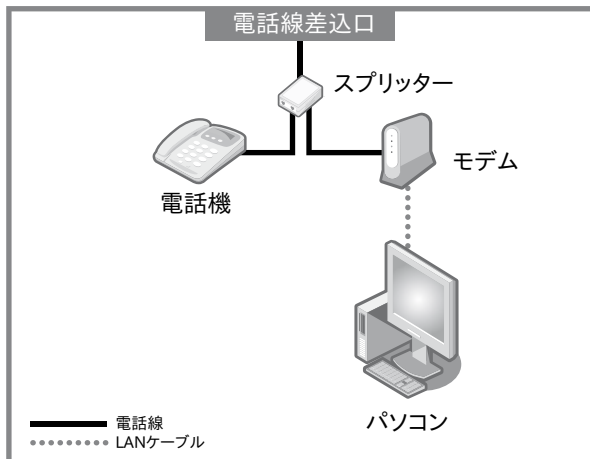
- 接続前に、機器の電源をオフにしてください。
- PPPoE接続(インターネット接続用のユーザー名、パスワード等のユーザー権限情報を入力して行います)はルーターまたはモデム(ルーター内蔵型)にて登録を行ってください。
- ATA本体の接続後、ネットワーク状態が安定するまでしばらくお待ちください。
- ルーターまたはモデム(ルーター内蔵型)をお持ちでない場合、本説明書7ページの付録1を参照のうえPPPoEの設定を行ってください(プロバイダーから与えられたユーザー名、パスワードが必要です)。

注意: ATAはお客様のインターネット環境に接続してFLiPをご利用いただくための、電話機接続専用アダプターです。ルーターとしてご利用いただくことはできません。

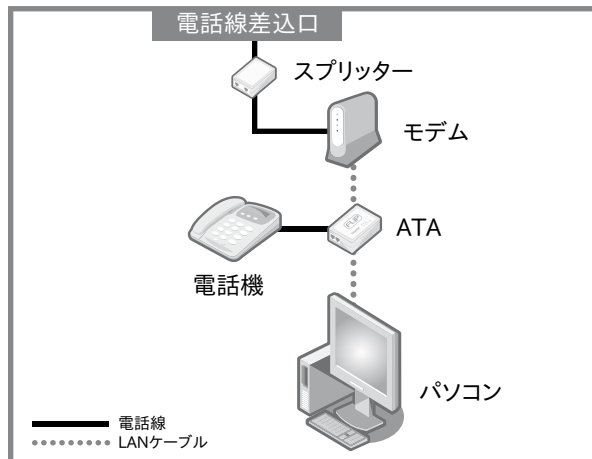
以下、お客様のケース毎のATA接続モデル図をご参照ください。

ケースA: ADSL ルーター内蔵型モデム

接続前



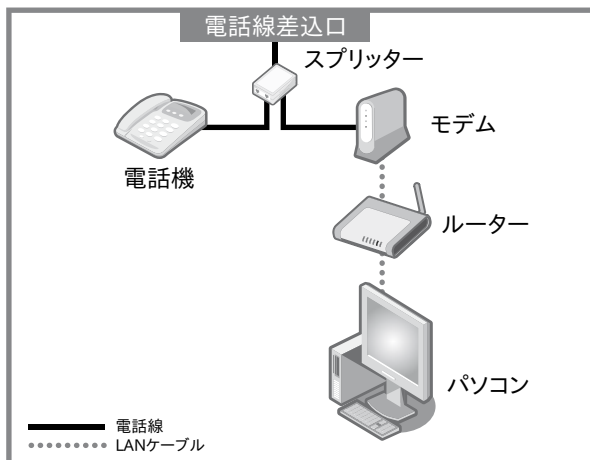
接続後



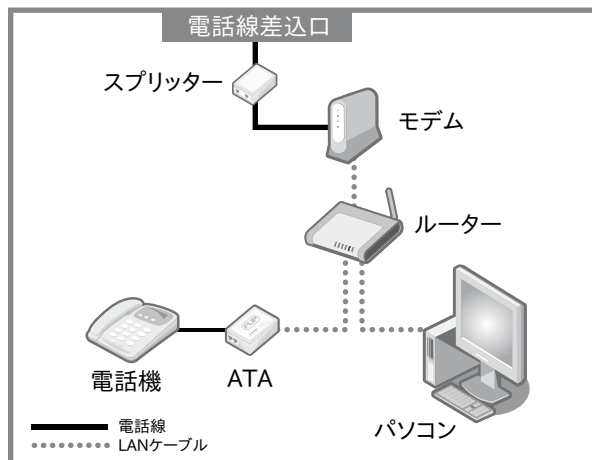
ATA接続前と接続後(スプリッター別売)

ケースB: ADSL モデム・ルーター分離型

接続前



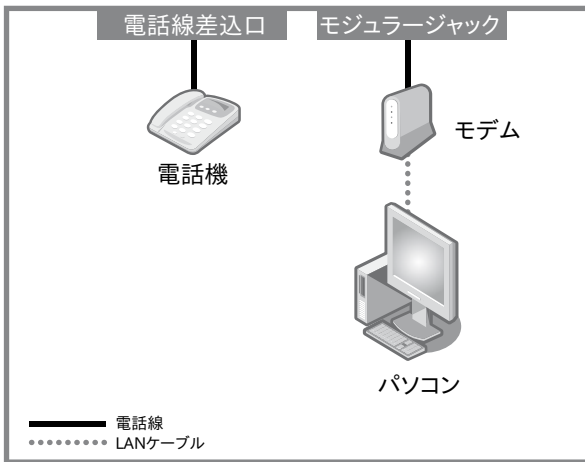
接続後



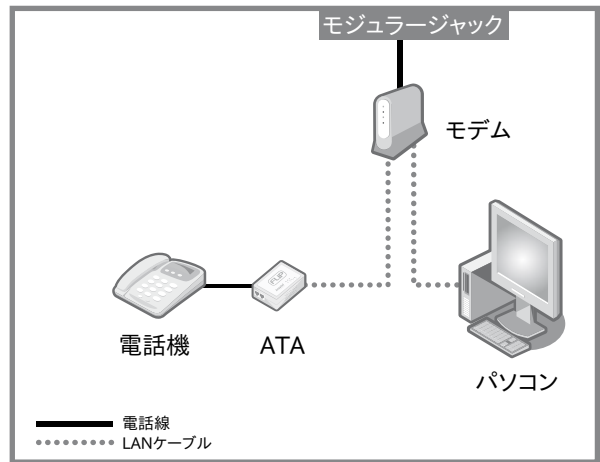
ATA接続前と接続後(スプリッター別売)

ケースC：光ファイバー ルーター内蔵型モデム

接続前



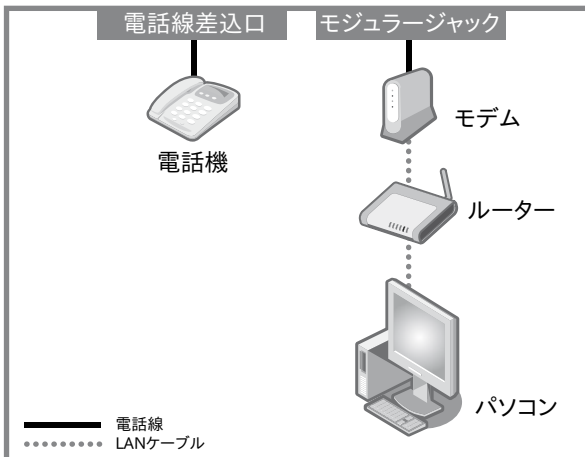
接続後



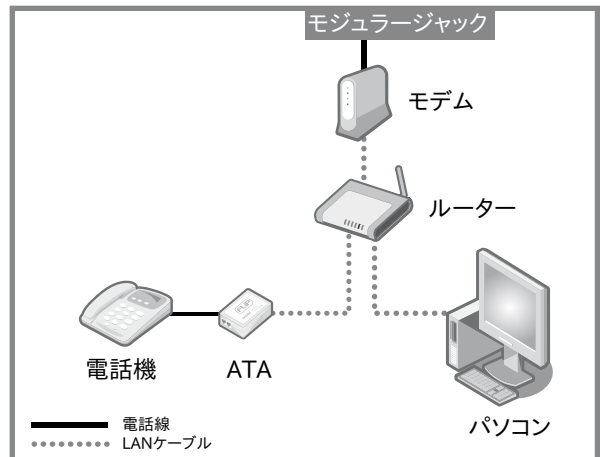
ATA接続前と接続後

ケースD：光ファイバー モデム・ルーター分離型

接続前



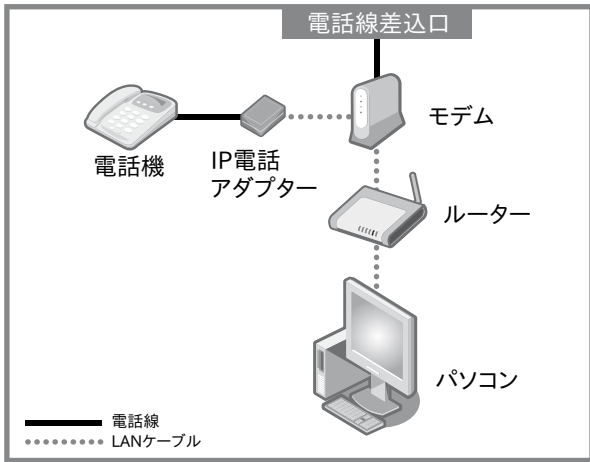
接続後



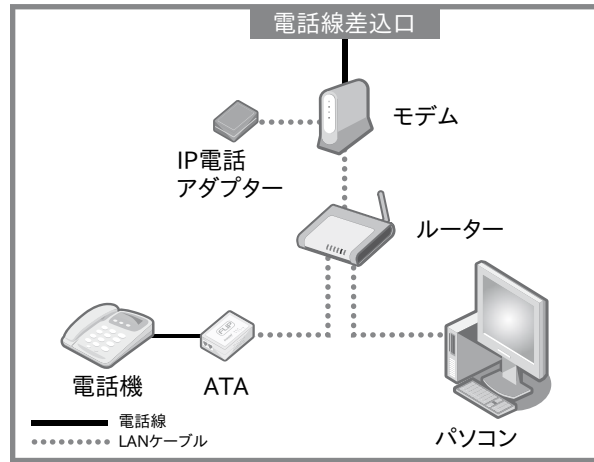
ATA接続前と接続後

ケースE：光ファイバー モデム・ルーター分離型 (IP電話機接続の場合)

接続前



接続後

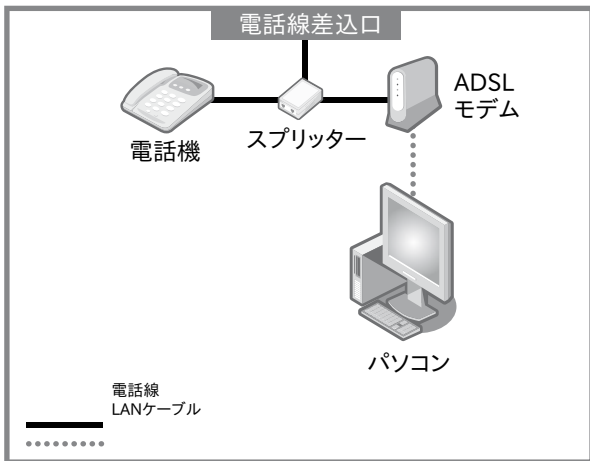


ATA接続前と接続後

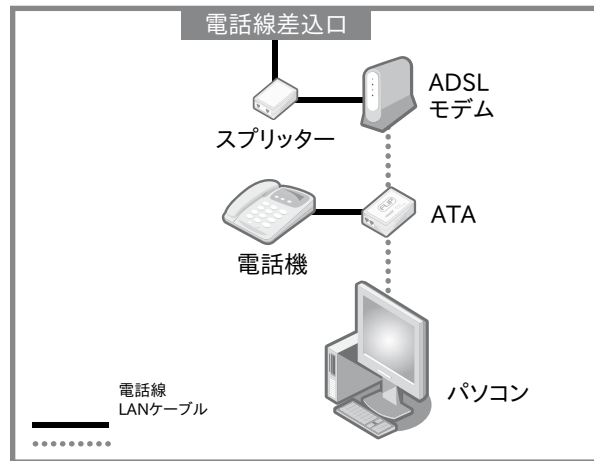
ケースF：ADSLモデム ルーター(本体、機能)なしタイプ

ATAでPPPoEの設定が必要です(付録1、7ページ)。

接続前



接続後

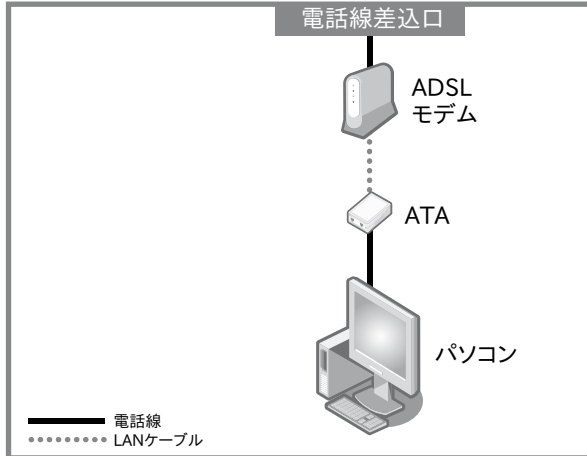


ATA接続前と接続後(スプリッター別売)

付録1. ADSLモデム(ルーター本体・機能なしタイプ)のみをご利用の場合 (6ページ、タイプF参照)

ATAへPPPoE 接続の設定を行う方法

パソコン、ATA、モデム等各機器へケーブルが完全に接続されているかどうか確認してください(下図参照)。



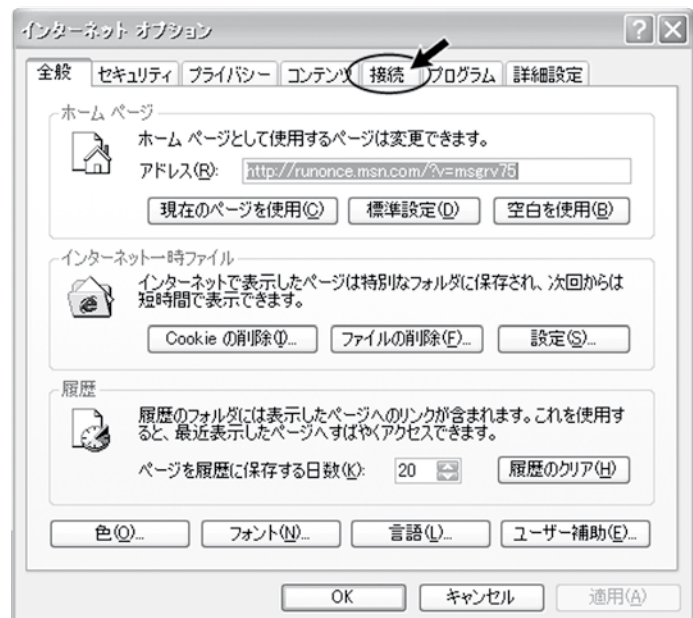
ステップ 1: PCへのPPPoE接続を切断する。

1. ダイヤルアップ接続画面(図A)、またはインターネットエクスプローラのインターネットオプション画面(図B)を開きます。



(図A)

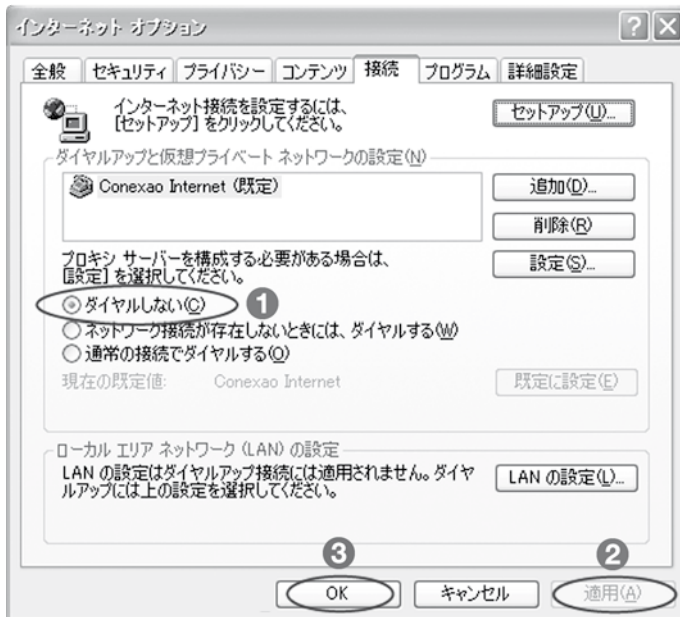
「ダイヤルアップ接続」画面の「設定」ボタンより「接続」タブを選択します。



(図B)

インターネットエクスプローラのウィンドウを開き、「ツール」より「インターネットオプション」を選択、「接続」タブを開きます。

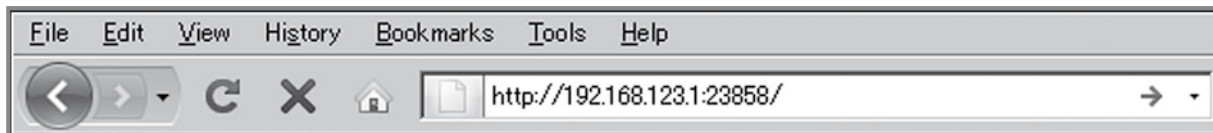
2. 「インターネットオプション」の「接続」から: ①「ダイヤルしない」を選択 ②「適用」 ③「OK」。
その後、全てのウィンドウを閉じてパソコンを再起動します。



注意: FLiPを使用せずにインターネットをご利用されたい場合、「通常の接続でダイヤルする」を選択し、「適用」および「OK」をクリックします。

ステップ 2: ATA本体でPPPoE接続の設定を行う。

1. Webブラウザ(例: インターネットエクスプローラ、ネットスケープ等)を開き、URL <http://192.168.123.1:23858/> を入力してEnterキーを押すと、設定画面が開きます。



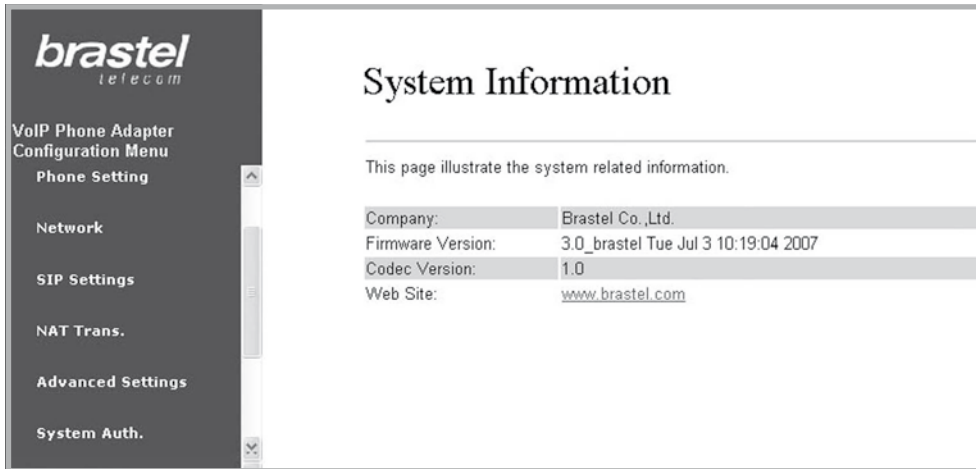
このURLを入力されても設定画面が開かない場合は、パソコンのDHCPが無効になっている可能性があります。詳しくは、付録2(12ページ)をご確認ください。

2. ユーザー名とパスワードは、「User」を入力します。

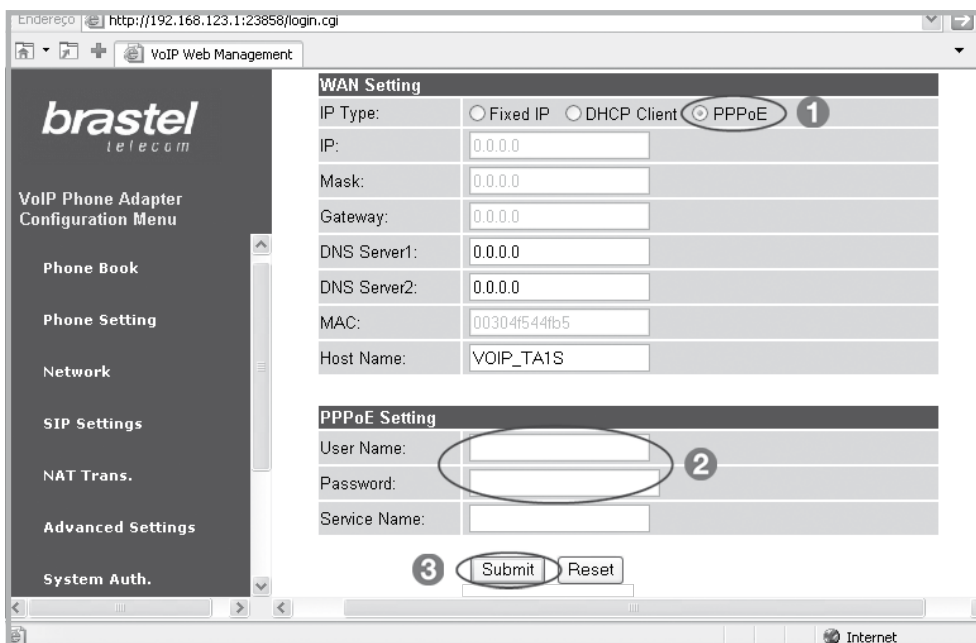
注意: 大文字と小文字は区別されます。「User」の「U」は大文字です。



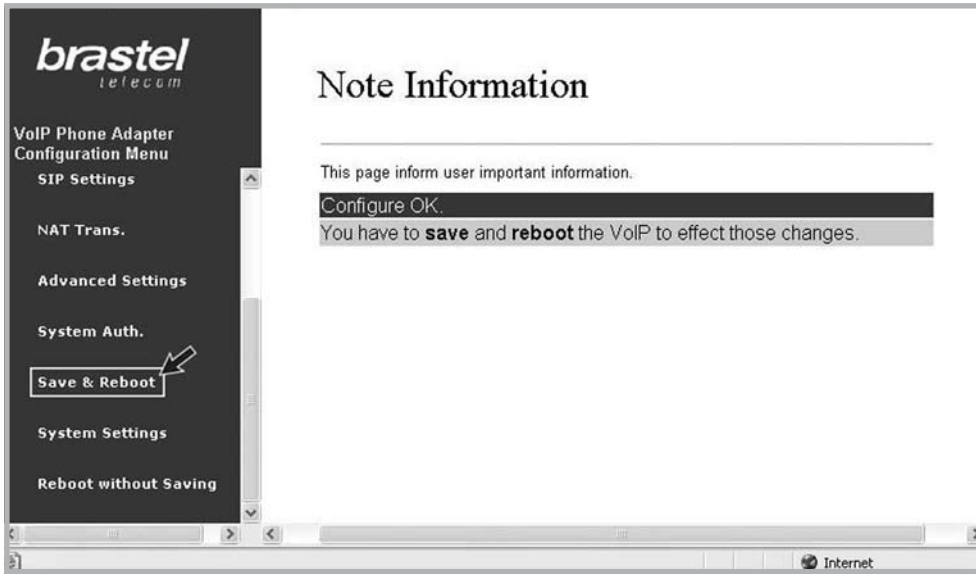
3. 設定メニューより「Network」をクリック、サブメニューより「Network Settings」を選択します。



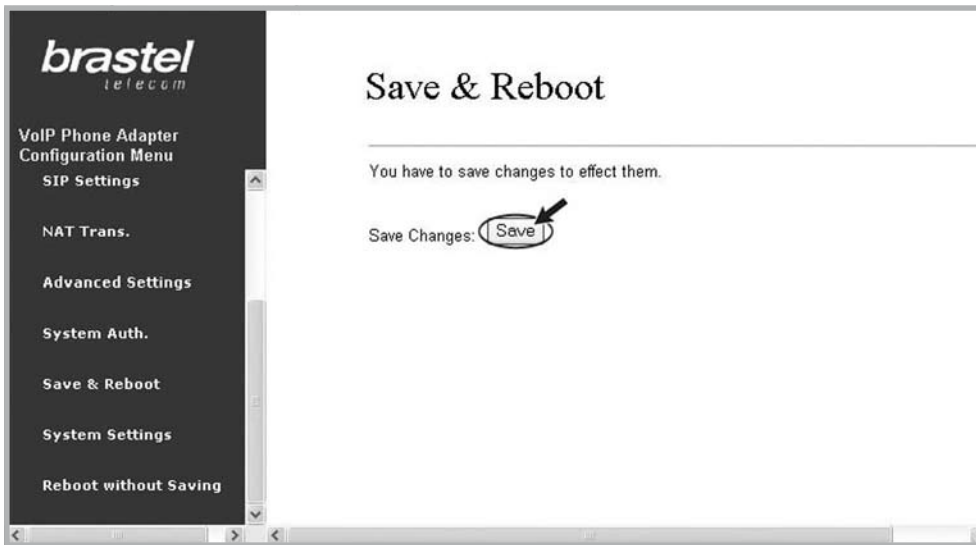
4. WAN Settingの入力画面にて、**①** IPタイプ: PPPoEを選択、**②** PPPoE設定画面にて、ご加入のインターネットプロバイダーから配布されている「ユーザー名」および「パスワード」を入力し、**③** 「Submit」をクリックします。



5. 以下の画面が表示されましたら、メニューより「Save & Reboot」をクリックしてください。



6. 設定を保存するための画面が表示されましたら、「Save」をクリックするとATAの設定が完了します。



7. 数分後(5~10分後)、インターネット接続状況を確認してください。問題なく接続されていれば、設定は完了です。

接続ができない場合は…

ATAの設定画面にてメニューから「Network」、サブメニューから「Status」の順にクリックしてください。

PPPoE設定が正しく行われた場合、以下のような画面が表示されます(数値:”0.0.0.0”以外)。

The screenshot shows the 'Network Status' page in the Brastel VoIP Phone Adapter Configuration Menu. The left sidebar contains 'Phone Book', 'Phone Setting', 'Network', and 'SIP Settings'. The main content area displays the current status of network interfaces for 'Interface 0'.

Interface 0	
Type:	PPPoE Client
IP:	210.211.212.213
Mask:	255.255.255.0
Gateway:	210.211.212.1
DNS Server 1:	110.111.112.113
DNS Server 2:	110.111.112.113

設定が正しく行われなかった場合、以下のように表示されます(数値:”0.0.0.0.”)。

The screenshot shows the 'Network Status' page with the same sidebar as the previous image. The main content area displays the current status of network interfaces for 'Interface 0', but all numerical values are 0.0.0.0.

Interface 0	
Type:	PPPoE Client
IP:	0.0.0.0
Mask:	0.0.0.0
Gateway:	0.0.0.0
DNS Server 1:	0.0.0.0
DNS Server 2:	0.0.0.0

ATAの再設定を行うには、8ページのステップ2からの手順を繰り返してください。

注意:IP、マスク、ゲートウェイの画面に数値が表示されていてDNSサーバー1および2のみ”0.0.0.0.”となっている場合は、数値を手動で入力してください(正確な数値は、ご加入のプロバイダーへお問い合わせください)。

The screenshot shows the 'Network Status' page with the same sidebar. The main content area displays the current status of network interfaces for 'Interface 0'. The IP, Mask, and Gateway values are correct, but the DNS Server 1 and 2 values are 0.0.0.0.

Interface 0	
Type:	PPPoE Client
IP:	219.160.124.203
Mask:	255.255.255.0
Gateway:	221.113.130.145
DNS Server 1:	0.0.0.0
DNS Server 2:	0.0.0.0

上のお手続完了後も接続ができない場合は、カスタマーサービスへお問い合わせください。

付録2. DHCPの設定方法 (Windows XP、Windows Vista)

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) とは、IPアドレス、サブネットマスクやデフォルトゲートウェイといったその他のインターネットやネットワークの設定情報をネットワーク機器へ自動的に提供するための機能の一つです。

FLiPの場合、DHCPの設定を行うと、ATAのPCポートからパソコンを接続することで、コンピューターに必要なネットワーク情報を自動的に取得することができ、ルーターがなくてもATAとパソコンの両方をご利用いただけます。

Windows XP の場合

1. 「スタート」ボタンより「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク接続」へお進みください。
2. 「ローカルエリア接続」をクリックします。
3. メニューより「プロパティ」を選択します。
4. 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をダブルクリックします。
5. 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。
6. 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。
7. 「OK」をクリックします

Windows Vista の場合

1. 「スタート」ボタンより「ネットワーク」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
2. 「ネットワークと共有センター」から「ネットワーク接続の管理」をクリックします。
3. 「ローカルエリア接続」メニューより「プロパティ」を選択します。
4. 「インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IP)」を選択すると、IPアドレスの設定画面が表示されます。
5. 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。
6. 「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。
7. 「OK」をクリックします。

DHCPの設定について詳しい情報は、各コンピューターの「ヘルプ」をご参照ください。